

# 着工から六か月

## 順調な安良沢小の新築工事

今年の八月完成を目指して工事を進めている安良沢小学校の新築工事は、これまでに、校舎のコンクリート打ちやアルミサ

ッシの取り付けが終わり、現在は内装工事を進めています。工事の進行率は約五〇パーセントで、予定どおり進んでおり、

二期から新しい校舎で学習できる見通しとなっています。

総工費五億九千六十万円で新築される校舎は、南棟と北棟の二棟からなり、それぞれ鉄筋コンクリート造りの三階建てで、

延面積は三千七百九十七平方メートル。南棟は千九百九十一平方メートル、普通教室が十室のほか、図書室、視聴覚室の特別教室と食堂が、

また、北棟は千八百六十六平方メートル、理科室、音楽室、図工室などの

特別教室が五室と職員室、放送室、印刷室などが整えられることになっています。

また、玄関を入ったすぐ近くには、ベンチ式のいすとテーブルを置いた「談話コーナー」を設置し、校舎の空間利用を図る

ほか、校庭の石段を利用した屋外ステージを作り、音楽会などに利用することになっています。

野口小学校の校庭拡張工事は一月二十三日に本格的にスタートし、四月の新学期の完成を目指して工事が進められています。現在の校庭は、約二千九百平方メートルと狭く、早期拡張を望む声が多かっただけに、学校関係者はもちろん父兄もたいへん喜んで

います。今回拡張される土地は、現在

### 約二・六倍の広さに

#### 野口小の校庭拡張工事始まる

野口小学校の校庭拡張工事は一月二十三日に本格的にスタートし、四月の新学期の完成を目指して工事が進められています。

現在の校庭は、約二千九百平方メートルと狭く、早期拡張を望む声が多かっただけに、学校関係者はもちろん父兄もたいへん喜んで

います。今回拡張される土地は、現在

野口小学校の校庭拡張工事は一月二十三日に本格的にスタートし、四月の新学期の完成を目指して工事が進められています。

現在の校庭は、約二千九百平方メートルと狭く、早期拡張を望む声が多かっただけに、学校関係者はもちろん父兄もたいへん喜んで

います。今回拡張される土地は、現在

野口小学校の校庭拡張工事は一月二十三日に本格的にスタートし、四月の新学期の完成を目指して工事が進められています。

現在の校庭は、約二千九百平方メートルと狭く、早期拡張を望む声が多かっただけに、学校関係者はもちろん父兄もたいへん喜んで

います。今回拡張される土地は、現在

### 4月に制定の予定

#### 市の花、木 キャッチフレーズ

市制三十周年記念事業の一つとして、市民の皆さんから募集していた、「花、木、キャッチフレーズ」は、昨年十二月十五日で締切りました。市では、これから選定委員会を開き、市制三十周年にふさわしいキャッチフレーズや、市を象徴する花木を選定して、四月中には制定することになっています。

応募の内訳は、市の花が、ワタスゲ、シラネアオイ、八汐つつじ、日光キスゲなど七十三人から十一種。市の木は、つつじ、カラマツ、白樺、イチイ、もみじ、杉など七十二人から十五種類。また、キャッチフレーズは、四十五人の方から四十五点となっています。

▲順調に工事が進む安良沢小学校の校舎